

第5章

リレーシンポジウムの開催

第5章 リレーシンポジウムの開催

行政機関、住民、医療・介護・福祉の関係者に、健全な危機感を醸成させるとともに、地域の医療・介護・福祉は、「国から降ってくるもの」ではなく、「地域で育み、自らも参加して、そして、時に生活を支えてくれるもの」といった“意識”に変えることを目指し、「介護の日」(11月11日)を中心に、「介護の日」記念フォーラムなど県内8箇所でもリレーシンポジウムを開催した。

1 「介護の日」記念フォーラムの開催

「介護の日」記念フォーラムの開催にあたっては、県内の介護・福祉関係団体(10団体)が、三重「介護の日」普及実行委員会を構成し、各団体が種別を超えた連携を図り取り組んだ。

「介護の日」記念フォーラムでは、認知症をテーマとした講座やシンポジウムの開催、物忘れチェックの体験コーナーや求職登録・相談コーナーの設置を行った。

また、介護現場で頑張っている職員から「介護への思い」についてのメッセージをビデオレターとして放映するとともに、介護・福祉関係団体によるポスターセッションの実施など介護に携わる者の思いや現状を直接来場者に対して伝えた。

「介護の日」記念フォーラムの開催概要については、次のとおりである。

①日時 平成21年11月11日(水) 13:00

②場所 三重県総合文化センター 大ホール

③参加者数 約2,000人

④主催

三重県、三重「介護の日」普及実行委員会(三重県老人福祉施設協会、三重県老人保健施設協会、三重県デイサービスセンター協議会、三重県グループホーム連絡協議会、三重県介護支援専門員協会、三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会、三重県介護福祉士会、三重県社会福祉士会、認知症の人と家族の会三重県支部、三重県社会福祉協議会)の10団体で構成

⑤内容

(基調講演)

「明日を素敵に生きるには～介護から学んだこと～」

講師 エッセイスト 安藤和津さん



(認知症講座～認知症を正しく知る～)

講師 東員病院(認知症疾患医療センター)

村瀬澄夫 院長



(シンポジウム)

「介護の未来を考える～認知症へのアプローチを中心に～」

(シンポジスト)

社会福祉法人さくら福社会理事長 久野美文さん

社会福祉法人青山里会常務理事 西元幸雄さん

介護老人保健施設いこいの森理事長 東憲太郎さん

(コーディネーター)

三重県健康福祉部長寿社会室長 吉田一生

⑥ビデオレターの放映

現場で頑張っている介護職員からのメッセージをビデオレター「私の仕事、介護への思い」として作成し、会場で放映(14施設 21名からのメッセージで構成)

ビデオレター一覧(出演者名は、代表者)

| 事業所名 | 出演者名 | メッセージタイトル |
|-------------------|-------|--------------------------|
| ユートピア在宅介護サービスセンター | 藤牧俊介 | 思いっきりの笑顔で“ありがとう”と言って欲しくて |
| 在宅介護サービスセンターうねめの里 | 山野秀樹 | 笑いの絶えない、楽しい社交場をめざして |
| 小山田特別養護老人ホーム | 河村美奈 | 介護の魅力 |
| 特別養護老人ホーム慈宗院 | 奥村純司 | 笑顔の大切さ、ありがたさ |
| 介護老人保健施設いこいの森 | 立花有人 | 介護への思い |
| 第二岩崎病院 | ゴ・スチン | 私の仕事、私の思い |
| さくらテラス | 岩本真友子 | 住み慣れた地域で暮らし続けていただくために |
| 明和苑デイサービス | 前田英史 | 利用者様が健やかな身体と心を築いていく介護 |
| ふたみシルバーケア豊寿園 | 前田真依子 | 私たちの介護への思い |
| 特別養護老人ホーム森の里 | 山本和弘 | 介護は「やりがい」のある仕事 |
| 特別養護老人ホーム福寿園 | 田巻和之 | 笑顔で楽しい環境づくりを |
| グループホームひぐらし | 上前田浩 | 安心していただける存在に |
| 尾呂志リハビリ診療所 | 嶋美奈 | 楽しくリハビリを！ |
| ショートステイセンターつどい | 杭徳教 | 介護の魅力、その一瞬の感動 |

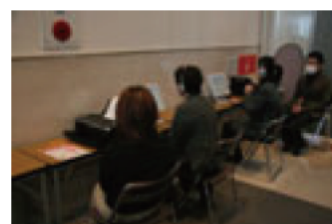
⑦ポスターセッションの実施(三重県老人福祉施設協会等7団体)

各団体の活動内容等について掲示するとともに、参加者に対する説明、意見交換等を実施



⑧健康コーナーの設置(松阪市)

対話式タッチパネルパソコンで「物忘れチェック」を希望者に対して実施



⑨求職登録・相談コーナーの設置(三重県福祉人材センター)
介護職等福祉職員の求職相談を実施



⑩街頭啓発活動の実施

三重「介護の日」普及実行委員会が主体となり、「介護の日」の街頭啓発活動を、県内9地域(10箇所)で実施し、約10,000人に対して啓発物品を配付した。

| 地域 | 日時 | 場所 | 参加人員数 |
|------|----------------------------------|---------------------|------------|
| 桑名 | 10月31日(土) 11時 | 桑名駅前 | 20人 |
| 四日市 | 11月1日(日) 10時30分 | 常磐小学校 (ときわまつり) | 14人 |
| 鈴鹿 | 10月31日(土) 11時 | 鈴鹿ベルシティ | 24人 |
| 津 | 10月31日(土) 10時 11月11日(水) 7時30分 | 津サティ 津駅前 | 23人 20人 |
| 松阪 | 11月3日(火) 13時 | 松阪市日野町 (松阪氏郷まつり) | 18人 |
| 伊勢 | 11月8日(日) 10時 | 伊勢ジャスコ | 16人 |
| 伊賀 | 10月31日(土) 10時 | アピタ伊賀上野 | 17人 |
| 名張 | 11月8日(土) 10時 | 名張駅前 | 16人 |
| 尾鷲熊野 | 11月8日(土) 10時 | サンバースト (主婦の店) | 18人 |

2 リレーシンポジウムの開催

各市町協働で行ったリレーシンポジウム開催状況については、次のとおりである。

(1) 認知症になっても地域で暮らす～介護・福祉関係者がともに考える研修会～

- ①日時 平成21年11月9日(月)13:30
- ②場所 志摩市役所
- ③内容 志摩市民の取り組みから～認知症理解のための寸劇上演
シンポジウム
- ④主催 志摩市

(2) 住み慣れた地域で安心して暮らしていくために～介護と健康を考えるつどい～

- ①日時 平成21年11月12日(木)14:00
- ②場所 松阪市産業振興センター
- ③内容 講演会「安心して暮らし続けられる地域ケアと予防・高齢者の健康づくり」
介護予防体操
認知症サポーター養成講座「認知症を学び、地域で支えよう」
脳の健康チェック「タッチパネル」体験コーナー
- ④主催 松阪市、三重県介護支援専門員協会松阪支部

(3) 三重県民生委員・児童委員協議会伊賀ブロック研究会

- ①日時 平成21年11月20日(金)13:30
- ②場所 青山ホール
- ③内容 講演会「地域福祉と民生委員活動」
シンポジウム「今こそ“地域の底力”～福祉でまちづくりの実践」
- ④主催 伊賀市社会福祉協議会

(4) 在宅緩和ケア講演会

- ①日時 平成21年11月21日(土)13:30
- ②場所 四日市市総合会館
- ③内容 講演会
シンポジウム
- ④主催 四日市市

(5) 備えあれば憂いなし！認知症を知ろう

- ①日時 平成21年11月23日(月)13:30
- ②場所 桑名市民会館
- ③内容 講演会「備えあれば憂いなし！認知症を知ろう」
- ④主催 桑名市地域包括支援センター

(6) 地域医療（ケア）を考えるフォーラム

- ①日時 平成21年11月29日(日)13:30
- ②場所 名張市武道交流館いきいき
- ③内容 講演会「地域で支え合い安心して暮らせる在宅ケアの実現をめざして」
シンポジウム
- ④主催 名張市

(7) 介護の日『リレーシンポジウム in 鈴鹿～介護で支えあうやさしいまちづくり～』

- ①日時 平成21年12月1日(火)13:30
- ②場所 鈴鹿市文化会館
- ③内容 講演会「介護日記～認知症の母とともに～」
シンポジウム「介護で支えあうやさしいまちづくり」
- ④主催 鈴鹿地区介護支援専門員協会、鈴鹿市・亀山市地域包括支援センター